

事業報告書

令和2年度

社会福祉法人 八重山海邦福祉会
海邦第2保育園

1 令和2年度の概要 ～法人理念を基本に保育目標の振り返りと課題～

(1) 保育内容の充実と質の向上

保育目標『心身ともに豊かでたくましい子ども』の一つ柱から、①素直で明るく元気な子 ②思いやりのある子 ③よく考える子の三本柱を揚げ、目標達成のため子どもと、どのような関わりが必要なのかを討議、実践し積み重ねてきた。子どもの目線になりながら、一人ひとりの発見を大切に、自主性や創造性を育むことを援助してきた。それぞれの日課の確立、年齢ごとのふさわしい活動、保育士の子どもへのかかわり方など繰り返しながら、人的または物的環境も考察した。今後の課題として、室内環境構成についてであるが、静と動のコーナーを取り入れ、一人でじっくり取り組むことや少人数で取り組む空間を構築。

(2) 連絡帳の必要性

- ・家庭との情報交換である連絡帳について、0・1・2歳児はそのまま継続している。3・4・5歳児はシール貼りを継続している。数字や文字に関心を持つようになりました。
- ・連絡事項等にはついては、保護者に朝の受け入れ時や降園時に口頭で伝えたり、クラス前での張り紙での周知を行う。今後も現状のやり方で進めていきたいと思う。
- ・3歳以上児については、個人の持ち物を大切にすることも持ってもらいたいと思い、身の回りの身支度は自分で行うように声掛けをしている。

(3) 保護者への支援・対応

- ・安心して子どもを園に預ける重要な要素として、保護者の気持ちを受け止めてあげることが重要であると認識している。入園当初、なかなか保育園になれなくて泣いて登園する子どもがいた。毎日の子どもの様子や、家での様子を共有することを意識していくうちに徐々に子どもたちも慣れてきて、喜んで登園できるようになった。入園時の面接では第2子を妊娠中で、入園式の後から直ぐに緊急事態宣言が発令され、家庭保育を行うことになったが、その間で流産した。家庭保育期間を終えて登園するようになったが子どもの食事の様子が気になるようで、暫く保育室で子どもと過ごすことにしました。お迎えの時に、ふとした会話の中で、母親の思いが切れたようで玄関先で自身のこれまでの状況を涙ながらに話す内に、次第にこれまでの構え過ぎていた想いが溢れ出たようで話して良かったと話されてました。その後は、子どもも安定し、友だちと関わりが増え、また母親にも笑顔が戻って先生方とも前向きな気持ちで接している姿があった。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、玄関で、一人ひとり検温を実施しました。その時に、子どもの様子等を看護師が聞き取り等を行った。

(4) プロとしての職員の意識づくりと常識人としての心構え

- ・子どもの最善の利益を考え、創意工夫を図る人
- ・子どもが主体的・意欲的に生活や遊びができるように援助していく人
- ・『高圧的』な物言いをするのではなく、常に「援助する人」であり、「親の次に信用できる人」であること。
- ・子どもの主体的な活動を展開するための環境構成を行う人。
- ・保育者として自分の課題を見つけ、自己研鑽していく人。

(5) 次世代を担う職員の育成

- ・保育所保育指針が改正になり、園内研修(集まったの実施はせずに、職務会で資料を配布)は職員一同で共通理解を図る場となった。
- ・年齢に応じて遊びや生活を各クラスで行う。担任同士の連携が取れていました。行事も二人ずつ組んで担当し、計画や準備を行ってきました。その都度、疑問や意見の食い違いがでた時は職員全員で話し合いを持ちました。
- ・今後も職員が常に話し合える環境づくりを意識して、海邦第2保育園の法人理念・子どもの最善の利益を目指していきたいと思えます。

2、児童利用状況

令和2年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	利用人数
4月	6	17	14	17	6	4	64
5月	6	18	16	17	9	5	71
6月	6	18	16	17	10	5	72
7月	8	18	16	17	10	5	74
8月	9	18	16	17	11	4	75
9月	9	18	17	17	11	4	76
10月	9	18	17	17	11	4	76
11月	9	18	17	17	11	5	77
12月	9	18	17	17	11	5	77
1月	9	19	16	17	11	5	77
2月	9	19	16	16	11	5	76
3月	9	19	16	16	11	5	76

3、保育開所時間

(1) 保育を提供する時間

開園日	月曜日～土曜日
休園日	日曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、年末年始(12月29日～1月3日)

(2) 開園 閉園時間

月曜日から金曜日	午前7時30分～午後6時30分まで
土曜日	午前7時30分～午後6時30分まで
延長保育	午後6時30分～午後7時まで

4、運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職務会議 (給食会議)	14		2 9 16 24 30	6 14 28	11 25	8 17 24 29	6 14 20 27	4 24	3 8 15 22	5 12 19 27	10 16	2 9 16 23 30

5、保育・処遇

(1) 保育年間計画結果

- 別紙「令和2年度行事計画表」に掲載

(2) 保育・園児発達相談・保護者支援・意見要望への対応

保育	・コロナ禍の中で、家庭保育を協力して頂きました。 保育園内での保護者の思いを知ることに関しては、保護者支援アンケートで保護者の気持ちを知る機会とした。
発達相談	・市の発達支援の巡回訪問は、事前にクラスの先生に『気になる子』の気づきの為にチェックリストでの4名の園児の観察を行い、市の、臨床心理士の方の行動観察を受けました。 普段の保育の中で、声かけ等で援助し今後も引き続き様子観察をしていくように、指導・助言を頂きました。
保護者支援	・ある保護者から、先生の言葉遣い、先生に叩かれた旨の苦言があり、また他の保育園の保育士が吹聴している事が分かり、保護者との話し合いを行いました。事務所のモニターでその時の状況と一緒に見て誤解であった事を確認した。保護者に対して、誤解を招く様な言動や行動がないように全職員に対して、指導を行った。
意見・要望	・保護者からの『ご意見用紙』から、おたより帳の記入しない日がある。とのことについて回答として～行事等で、記入出来ない日は、予め保護者に知らせるメモを事前におたより帳に張り付けていくことで、理解を得る事ができました。

(3) 給食・食育運営状況

- 乳児・幼児の発達状況や摂取量に応じて対応した。
- 食育については、園児の祖父の好意により、色々な野菜を育て、収穫する事ができました。
- 「食育計画」を把握しながら、家庭での食事状況の聞き取りや必要に応じた保護者への支援など個別に応じた対応をおこなった。

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月25日・12月10日
歯科健診	6月11日・2回目は新型コロナウイルスの影響で未実施
職員健康診断	4月～12月に実施
職員検便	調理・乳児担当職員が(株)CRCによる検便を月1回実施
流行した感染症	・RSウイルス・ヘルパンギーナ・手足口病・溶連菌 ・咽頭結膜熱

(5) 各種点検

危機管理	各保育室安全点検	毎月8日実施
	園内・外設備安全点検	毎月8日実施
	遊戯全般安全点検	毎月8日実施
	厨房室設備安全点検	毎月8日実施
	防災訓練(火災・地震・不審者・水害)	・4/22未実施・5/20未実施・6/1(図上訓練)・7/28(地震) ・8/19(火災)・9/9(火災)・10/21(総合避難訓練) ・11/18(火災)・12/16(水害)・1/20(火災・通報) ・2/24(不審者)・3/17(地震)
	不審者対応訓練	・2月24日
	通報・消火訓練	消火訓練(毎月)通報訓練(1月20日)
衛生管理	検便・細菌検査結果通知状況	4月 被験者職員7名
		5月 被験者職員7名
		6月 被験者職員7名
		7月 被験者職員7名
		8月 被験者職員7名
		9月 被験者職員7名
		10月 被験者職員7名
		11月 被験者職員7名
		12月 被験者職員7名
		1月 被験者職員7名
		2月 被験者職員7名
		3月 被験者職員8名

健康管理	予防接種確認 既往歴確認	・入園時 ・年1回／4月に実施
	身長体重測定	毎月1回実施
	園児健康診断	年2回／ 6月25日と12月10日に実施
	園児歯科健診	年2回／ 6月11日に実施 ※2回目は新型コロナウイルスの影響に伴い未実施

(6) 環境整備の状況

- あそび場の構成について、年齢あるいは活動の内容に適した遊びの展開を検討した。また、手作り玩具についても必要なものを作成し活用した。
- 子どもの活動を見守りながら、『子どもの目線で、感じたこと』の改善点などを考察した。
- 園児の祖父の畑で野菜の成長を見たり作業を手伝いしたり、収穫し、家庭で調理した様子を写真にして、保育園で展示して活動を報告した。

6、危機管理(防災・事故防止・防犯・大気汚染)

- 法人のマニュアルに基づき危機管理に努めた。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、検温・手指の消毒・マスク着用を徹底した。

7、職員研修

① 園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園内研修	14日	21日	18日	6日	11日	8日	20日	24日	8日	5日	20日	4日

②外部研修への出席

日程	主催	研修名	出席
11/6	石垣市	令和2年度第1回教育保育従事者合同研修会	1
2/8	沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	『苦情対応に求められる知識と技術』 ～ZOOM研修～	1
2/20、21	学校法人 大庭学園	キャリアアップ 保護者支援・子育て支援	3

※コロナ禍の中で外部研修等(市・県)は、中止となり、リモート研修が主になりました。

8、地域交流

- 園児の祖父のご厚意で、畑を使用しても良いとの申し出がありました。畑で野菜の生長を見て、野菜の世話をする。収穫する。そして食する。という食育活動を行った。
- 交流保育で、海邦保育園の年長クラスと英語教室で子どもたちの交流を深めた。
- リズムあそびでも、海邦保育園と一緒に取り組むことが出来た。